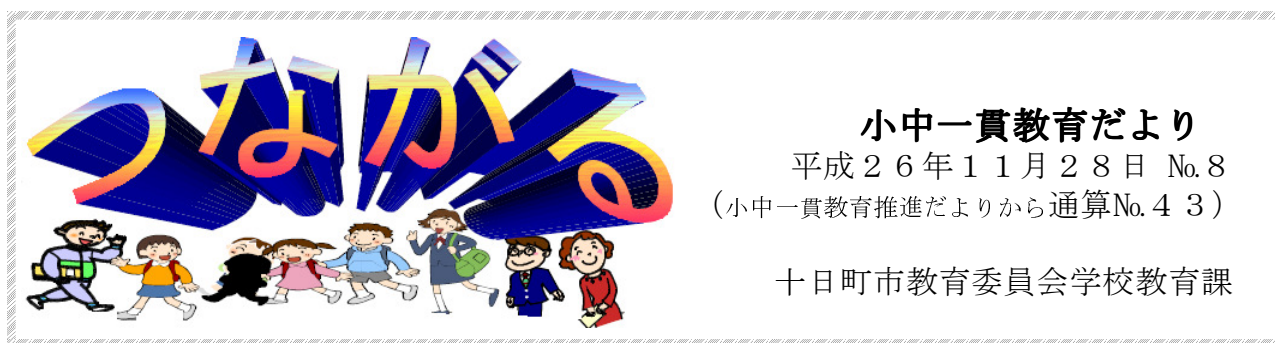




継続に加え、児童生徒の視点を大切に

学校教育課指導管理主事

島田 敏夫

魚沼三山も雪をかぶり、冬の到来を感じる今日この頃です。昨年は11月11日に市内に初雪があり、慌てたことを思い出します。今年は穏やかな晴れの日もあり、地域の方がうれしそうに「今年は秋野菜のできがいい」と言っているのを聴き、何となくほっとしているこの頃です。

さて、二学期には様々な機会に学校を訪問させていただきありがとうございました。その訪問をとおして感じたことを書きたいと思います。

訪問をとおしてまず感じたことは、どの学校もとても静かで落ち着いた雰囲気が伝わってきたことです。児童生徒は、授業中教師や友達の話をよく聴き、課題に対して真面目に取り組む姿が見られました。先生方の取組では、授業の導入時の目標（めあて・ねらい）の明確化と授業の終わりのまとめ（振り返り）を意識した授業実践と児童生徒に学習過程が分かる板書の工夫を心がけ、授業改善に取り組もうとする様子が見られました。こうした姿や取組は、小中一貫教育の視点から学習のルールや目指す子どもの姿を決め、各学校が学力向上に向けて具体的にかつ継続的に取り組んできた結果の現われだと感じます。また、こうしたことが平成26年度全国学力テストの成果にも現れているものと実感しました。

一方で気になることがありました。平成25年度全国学力・学習状況調査クロス集計結果（H26年度は未発表）では、授業のはじめに「目標を示す活動」を行い、授業の最後に学習したことを「振り返る活動」を『よく行った』及び『どちらかといえば行った』と答えた学校においても、「目標を示す活動」では児童の約2割・生徒の約3割、「振り返る活動」では児童の約2割・生徒の4割以上がそう受け取っていないという報告がありました。

その原因は、児童生徒が授業に受け身であることや、まとめが目標と学習活動とのかかわりで意味のある内容になっていないことなどが考えられます。

10月に下条小学校で行われた「プロに学ぶ授業力向上研修会」で筑波大学附属小学校夏坂哲志先生が講義の中で、授業の「型」や約束ごとを子どもの側から見直そうとの話がありました。その一つに、「めあてを毎時間、授業の初めに、一つだけ書くことは可能か？いいことなのか？」との投げかけがありました。これも上記の原因を考える上で一つのヒントになるような気がします。

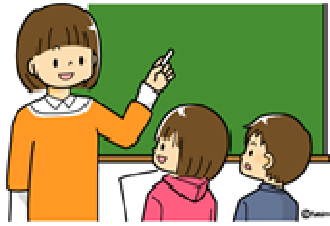


私たちは、授業をする時に大人や教師の視点で見がちになります。うっかりすると手段と目的が逆転してしまうことがあります。そのことに気付くために、これまでの授業や活動を教師自身が振り返り、児童生徒の思いや視点に気付くことが大切だと思います。

今年は小中一貫教育完全実施の年です。これまでの試行期間を含め各学校のコーディネーターや、今年度から位置付けられた中学校区統括コーディネーターを中心とした全教職員の取組に感謝しています。取組の成果は、日々の授業や活動の積み重ねが裏付けとなり、児童生徒の姿に現われてこそ意味があります。そうした意味で、これまでの取組を継続する中で、児童生徒の視点も大切にしたい振り返りと取組をお願いします。

教育センターから

教師力アップ!「若手サポート事業」



十日町市教育センターでは、教職経験2～6年目までの先生方を中心として、若手サポート事業を行っています。この事業の目的は、
○十日町市立学校に勤務する若手教員の指導力向上を図るとともに、
悩み等の相談に対応することで教員としての資質を高める。
○若手教員サポートを活用した校内研修体制を組むことで、受講者だけでなく学校全体の教育力を高める。
の2点です。

現在、定期サポート（年6～8回程度）14人、随時サポート（年3回程度）40人の合計54人が受講し、教師力の向上に努めています。指導には教育センターの指導主事や嘱託指導主事、各学校の校長先生や教頭先生、教職経験者の17人があたっています。

受講生や所属学校の校長先生の感想を紹介します。

○昨日もたいへん丁寧なサポートをありがとうございました。先生とお話した後は、いつも「よし!がんばろう!」とやる気がみなぎってきます。何よりも先生は、私の良さ、強みをたくさん伝えてくださいます。それがいつも嬉しくて、先生からがんばるパワーをいただいております。（小学校受講生）

○受講生に寄り添い、どうしたら受講生が自分の良さを生かしながらも、教師として人間として成長していくことができるかを十分に考えられたご指導をいただき、校長として感謝、感謝であります。一つ一つの山をきちんと越えさせながら、一步步成長していくことができるよう、私も努力してまいります。（小学校校長）



全国サミットに参加して

第9回小中一貫教育全国サミット in 姫路

学校教育課小中一貫教育係嘱託指導主事 丸山公一

平成26年10月30日（木）～31日（金）の2日間、遠く兵庫県姫路市で開催された「第9回小中一貫教育全国サミット in 姫路」に参加しました。往復の時間はかかりましたが、大変大きな大会であり、多くのことを学びました。いくつか紹介します。

公開授業参観（姫路市立^{ほくろ}白鷺小・^{ほくろ}白鷺中学校）

公開校は、平成21年、白鷺小（城南小・城巽小が統合）開校と同時に、白鷺中と共に小中一貫教育モデル校としてスタートして6年目の学校です。児童数693人（24学級）、生徒数212人（8学級）。中央に共通棟を配した隣接型、現行制度の枠内の小中一貫教育校です。

2校時36コマの授業公開があり、7授業を参観しました。その中で、小5と中3合同の「図工・美術」授業は、小中合同授業の新しい切り口を示唆するものではないかと思いました。

本時の目標が、「（中3）アートの良さを生活を豊かにする要素としてとらえることができる」「（小5）アートの良さを生活の中に生かすことができる」であり、中3が卒業制作として作った『アートTシャツ』の感想を小5が発表するという5校時計画の最終授業でした。

廊下でつながった校舎隣接型の学校なのでできる授業だと思いますが、改めて多様な教科の合同授業の可能性があるのではないかと考えさせられました。ちなみに、校舎正面に、国宝白鷺城（改築中）がそびえる素晴らしい環境（ロケーション）の学校でした。

分科会 「小中一貫教育の評価 ～教育委員会の関わり・役割～」 分科会

2つの市の教育委員会の取組発表がありました。

(1) 栃木県宇都宮市教育委員会「小中一貫教育の検証と今後の方向性」

人口 51 万人、小中 93 校。小中一貫教育制度のスタートはトップダウンで始めた。不具合があったら検証し見直していくのが教委の仕事と考えた。全市実施 3 年目を迎え一定の効果があつた。今後も持続的に取り組むため検証し、次の基本方向を出した。

①教育活動の一層の充実、②教職員の資質向上、③学校支援の充実、④地域連携

(2) 埼玉県八潮市教育委員会「^{はじ}めることから創める」

人口 8.5 万人。小中 15 校、児童生徒数 6,698 人。平成 18 年当時「学力の低迷」「非行問題多発」「不登校児童生徒の増加（県の 2.8 倍）」の課題を抱え、施設分離型（一体型校舎建築は市民が否定的）の条件下で小中一貫教育をスタート。教職員や保護者に疑問があつたため、各校の特色を生かしたボトムアップ式の小中一貫教育を推進している。

教職員で構成する 4 部会（けいかく・しえん・まなび・こころ）で実践と評価を一体化し、そのサイクルを継続的に実施することにより、成果が上がってきた。

全体会（全体会講話・シンポジウム）

(1) 講話 文部科学省審議官 前川喜平氏

今、小中一貫教育校は次の 2 つのタイプを考えている。

○タイプ 1 小中一貫教育学校；9 年間の学校、原則として両方の免許を必要とする。

○タイプ 2 小中一貫型小中学校；法律上の制度として位置付ける。

来年 1 月には、方向性を示す。そもそも小中一貫教育は教育行政現場から出たものだ。免許制度の改正も小中一貫教育の大きな課題となる。小中一貫教育校教員は小中両方の免許がなければならない。ただし当面は一方の免許でも可とする、と今は考えている。

※免許についてはまだ私見だそうです。

(2) シンポジウム「小中一貫教育から学ぶこと、これから考えること」

小松郁夫（常葉大学教職員大学院）；ICT 教育、浅野良一（兵庫教育大学大学院）；組織マネジメント、藤田晃之（筑波大学）；キャリア教育、小柳和喜雄（奈良教育大学教職員大学院）；グローバル教育・・・とそれぞれからその分野の小中一貫教育に関わる非常に専門的な話があつた。



←白鷺（はくろ）小学校から見える白鷺城（しらさぎじょう）
今、改修工事中ですが、来年 3 月には、公開されるとのことです。

→小学校 5 年生と中学校 3 年生の合同授業です。制服は、小中同じです。



重要：平成27年度の小中一貫教育全国サミットは、新潟県三条市で開催されます。

1 期 日 平成 27 年 10 月 22 日（木）～10 月 23 日（金）

2 会 場 新潟県三条市

詳細はまだ分かりませんが、今 1 次案内を作成中とのことです。十日町市でも多くの教職員の皆様に参加していただきたく、十日町市教育委員会でバスを用意したいと考えています。

◆各中学校区取組紹介（１１月～１２月）

中学校区名	１１月の取組	１２月の取組予定
拡大中学校区 統括；中条中 久保俊幸教諭	■ １１月１０日（月）中学校区教職員研修 中２国語、中３社会（十日町中）	□ １２月１７日（水）統括コーディネーター打合せ □ １２月２５日（木） 拡大中学校区カレンダー会議（教務主任）
南 中学校区 統括；南中 影山裕一教諭	■ １１月 ４日（火）中学校説明会（西小） ■ １１月 ６日（木）学区教職員研修（３年数学）南中（学力向上パートナー事業） ■ １１月１１日（火）学区はぐくみネットワーク会議 講演「市内・地域内における幼少期の子育て事情」 講師 市子育て支援課 越村智子主査保健師 ■ １１月１３日（木）南中体験入学 ■ １１月１４日（金）川治小・西小保護者懇談会 ■ １１月２８日（金）統括コーディネーター打合せ ■ １１月下旬 小中一貫だよりNo.5 発行	□ １２月中 小中一貫教育各班会議 ・１年間の活動のまとめ ・来年度への提言 □ １２月中 小中一貫教育だよりNo.6 の発行 
吉田中学校区 統括；吉田中 川合徹人教頭	■ １０月２４日（金）統括コーディネーター打合せ ■ １０月２９日（水）３校合同ＰＴＡ講演会 NAMARAを招いての小中地域合同お楽しみタイム ■ １１月１７日（月）～１１月２１日（金） 吉田パワーアップ作戦（より良い生活） ■ １１月２１日（金）学区教職員研修（算数 吉田小） ■ １１月２５日（火）ちびっ子体操教室と中学３年生家庭科授業の交流会	□ １２月２日（火）挨拶運動鑑島小 □ １２月３日（水）挨拶運動吉田小 □ １２月５日（金）いじめ見逃し ゼロスクール運動 13:30～15:20 吉田中 □ １２月９日（火）３校教務主任打合せ会 16:00～16:40 吉田中
下条中学校区 統括；下条中 庭山敦教頭	■ １１月１８日（火）小中交流活動（中２＋小３・４） ※児童生徒の感想を次ページに紹介 ■ １１月２１日（金）小中交流活動（中１＋小６） ■ １１月２７日（木）統括コーディネーター打合せ ■ １１月２８日（金）小中交流活動終わりの集い 8:40～9:25 下条中体育館	□ １２月２４日（水）小中合同職員会議 
水沢中学校区 統括；水沢小 羽鳥賢太郎教諭	■ １１月４日（火）小学校理科乗り入れ授業 ６年理科「地層の観察」中学校教諭指導 ■ １１月６日（木）中学校区授業研究 中２国語の授業実践を核に、子ども同士の関わりを大切にした授業の進め方について、学区教職員で協議 ■ １１月１８日（火）中学校区いじめ見逃しゼロスクール「絆交流」	□ １２月４日（木）小中一貫教育三部会 15:30～16:45 水沢中 □ １２月１９日（金）統括コーディネーター打合せ 中学校生徒が「いじめ劇」を発表し、小学生はその劇をもとにいじめをなくすために何をなすべきか考え、グループ毎にいじめをなくすための宣言文を考えました。
川西中学校区 統括；川西中 高野昭一教諭	■ １１月１３日（木）～２０日（木）家庭学習強調週間 小中で家庭学習に集中的に取り組んだ。 ■ １１月２７日（木）中学校説明会 学校生活の紹介、中２合唱、部活動体験 	□ １２月１７日（水）統括コーディネーター打合せ □ １２月中 いじめ不登校懇談会 □ １２月中 小中一貫教育全体評価 各校の学校評価と関連させて、小中一貫教育の取組に対する評価をする。

中里中学校区 統括；田沢小 関谷昭夫教頭	■ 11月 4日（火）特別支援教育班情報交換会 ■ 11月11日（火）小中一貫教育企画委員会 ■ 11月17日（月）学区教職員研修会（5年算数）倉俣 ■ 11月17日（月）～21日（金）チャレンジウィーク ■ 11月19日（水）2年生集合学習（生活科）田沢小 ■ 11月21日（金）小中一貫推進部会 ■ 11月28日（金）学区教職員研修会（5年国語）田沢小 ■ 11月 「中里の子育成プラン26～28」完成	□ 12月4日（木）中里地区校長会 ・グランドデザイン協議 ・学校評価・小中一貫教育評価 □ 12月11日（木）統括コーディネーター打合せ
松代中学校区 統括；松代中 木澤純教頭	■ 11月6日（木）～12日（水） 「すこやかウィーク」アンケート実施、生活目標改善（健やかな体育委員会） ■ 11月13日（木）校区相互授業参観（道徳）松代中 ■ 11月17日（月）校区相互授業参観（国語）松代小 ■ 11月21日（金） 「コーディネーショントレーニング講習会」 小学校5年生と中学校2年生合同の講習会 講師；ネージュスポーツクラブ村山インストラクター	□ 12月10日（水）統括コーディネーター打合せ □ 12月26日（金）小中一貫教育に関する委員会 13:30～15:00 松代中 
松之山中学校区 統括；松之山中 山碕孝幸教頭	■ 11月10日（月）中学校区授業研修会 小学校4年生算数、 中学校2年生社会 ■ 11月12日（水） 小中交流集会 13:40～15:45 松之山中 ※小学生と中学生が一緒に、 中学校教諭指導のもと社会、国語の授業を行いました。	□ 12月4日（木）統括コーディネーター打合せ □ 12月10日（水）小中一貫教育推進会議 16:30～松之山中 □ 12月18日（木）食育講座 13:35～15:25 松之山中 □ 12月上旬 友達の良い所、頑張っているところを表した川柳づくりと紹介（生徒会主催）

トピックス

取組紹介

下条中学校区小中交流活動

下条中学校区では、これまでの小中合同で行う大きなまとまりの「若葉班活動」の取組をバージョンアップし、交流学年を明確にした「小中交流活動」を実施しています。

11月18日に実施した「中学校2年生—小学校3・4年生」の交流活動での児童・生徒の感想を紹介します。この交流学年の活動は、中学2年生をリーダーに1班5～6人グループを16班編制し、調理、スポーツ、実験、遊びなどなんと12種以上の活動を小・中学生が一緒に行ったものです。（詳細は下条中学校区に問い合わせを）

◆中学生のおかげで、うまくフルーツオムレツをつくることができました。ちょっとパニックになったけど、中学生のおかげでのりきることができました。
◆ドッジボール、ビーカーポップコーンをして楽しかったです。最後まで一緒にいてくれてありがとう。（小3）

◆その紙飛行機すごいね、と言ってもらってうれしかったです。今日、休まないで良かったです。
◆中学生といろいろお話ができてうれしいし、中学生がニコニコ笑顔でおもしろくていいひとだなあと思いました。また元気にやりたいです。（小4）

◆全員の気持ちを考えながら活動することができた。中学生は普段みせることのないくらい優しい顔で小学生に接していて、すごく良かった。
◆普段より笑顔で活動できた。場を盛り上げるために、少しだけ自分の殻を破れたと思う。指示を出しながらの活動は大変だけどいい経験になった。
◆中学生（2年生）みんながリーダーとなり活動をまとめていた。（中3）